

西日本最大級! 食の祭典



食とモノづくりの融合

胃袋を支える技術
西日本食品産業創造展は、単なる食品の見本市ではない。食に関するさまざまな分野から、全国の企業・団体が集まるのが特徴だ。西日本最大規模で、今年で22回目を迎える。食における関連分野の広さに、きつと新鮮さを覚えるはず。

初日はテブカットならぬ、恒例のケーキカットで幕を開ける。長数十メートルにおよぶロールケーキは、切り分けて先着順でふるまわれる。ぜひ開幕に合わせて来場し、会場内を回る前に軽く腹ごしらえしてほしい。

足を踏み入れてまず目に入るのは、所狭しと並び食品機械だ。加工や保存、調理、衛生管理など各分野の企業が出展する。なじみはなくても、意外に生活上で接点が多いこともある。コンビニの食品やレストランの食事など、外食・中食を支える技術が一堂に会する。見えないところで胃袋を支えてくれる技術に会える貴重な機会だ。職人のように動く機械を見るだけでも楽しい。実演を行う出展者も多く、舌でもその実力を確認できる。



実演イベントも多い

第22回西日本食品産業創造展'12

食の祭典開幕。5月中旬といえば、新年度のやる気に満ちた4月が終わり、ゴールデンウィークで楽しんだ反動でお疲れ気味。そんな元気をつけたいビジネスパーソン諸氏に、ぜひ足を運んでほしいイベントがある。5月16・18日に福岡市博多区のマリンメッセ福岡で開催される「西日本食品産業創造展'12」だ。(写真は昨年開催分)



サマーパレンタインのPRコーナー

食の世界は広い。そして楽しい。食欲だけでなく、知識欲も満たす西日本食品産業創造展には、明日の活力につながる何が新しい発見があるはずだ。

食に対する安心安全意識は高まっており、最近には特に放射能汚染への関心も高い。だがなかなか適切な知識は身につけにくい。そこで放射線や放射能の基礎から解説する特別講演会を開催。消費者として知っておくべき知識を得られる。このほか衛生や集客、健康・機能性食品など、さまざまなセミナーが期間中に併催される。

最近ブームの「塩こじ」を使うたお菓子コンテストも楽しみ。実演・販売が行われるので注目だ。新年度から食生活を改めようという決意した人には、健康メニューの提案コーナー「健康を食べよう」がおすすめ。

圧巻なのが同時開催される、洋菓子職人の技術コンテスト。なかなか目にするのができない。華麗なフロアの技を間近で見ることができ。また七夕にちなんだ夏のイベント「サマーパレンタインフェスタ」も今回で5回目。冬のパレンタイン、でうまくいかなかったあなたにも、何か収穫があるかも。

お腹も知識も満足
西日本食品産業創造展には見て、食べて、楽しめるイベントもたくさん。九州各地の食材をふんだんに使う「地産料理」の展示は目においしい。

最近ブームの「塩こじ」を使うたお菓子コンテストも楽しみ。実演・販売が行われるので注目だ。新年度から食生活を改めようという決意した人には、健康メニューの提案コーナー「健康を食べよう」がおすすめ。



左：食欲を誘う展示
右：職人が技を競う
下：眼にもおいしい

Good Design Oven

「見ると冷感、だがおいしそうに香りが漂い、中をのぞくとスポンジ生地がふくらむ。これはたぶん、こればれつきとした業務用オーブンだ。七洋製作所(福岡県手羽町、内山繁行社長 092・957・0325)が開発したスルタイプと呼ぶ製品で、前後両面から内部が見える。Gマークでおなじみの「グッドデザイン賞」をシリーズで何度も受賞している。業界内では思いもよらなかった製品だった。

優れたデザインと聞くと「見た目だけなのでは」と思う人もいえるだろう。確かに色鮮やかで、大きなガラス面はスマートな印象を受ける。だがそれだけでデザインの評価はされない。この製品は「焼く」という点で、むしろ自信を持っている。長年培ってきた厳密な温度管理技術を実現するために、頑丈さと高い密閉性に妥協しない。大きくガラス面を採るにもかかわらず、保温性を犠牲にしなかったのだ。その実力は一流菓子職人が多数使用

していることからわかる。また、この製品が持つ、もう一つの機能が集客だ。決してロボットのようにしゃべるわけではない。だが同じくらい雄弁に語るのだ。

このオーブンの両面にガラス面がある理由。それは厨房(ちゅうぼう)から職人が、そして店舗側から客が中をのぞけるようにするためだ。開発した内山社長はオーブンを厨房の奥にある汚れた存在から、表舞台である店舗に引き出したと考えた。そうすることでオーブンは、菓子職人と来店客をつなぐ存在になると信じた。

生地がふくらむ様子は子どもなら誰もが、のぞいてみたくなるもの。そして店頭に漂う香りは、つい財布のひもを緩めてしまう。その消費者意識を読み取って形にし、店舗に置くことができるオーブンを生み出した。

このオーブンはしっかりと焼ける。客を呼ぶ、そして美しい。いわば内面の美しさが表ににじみ出ている。これが優れたデザインの理由だ。



美しいだけじゃない実力

客を呼ぶオーブン

都心に近い。アジアが近い。未来に近い。

マリンメッセ福岡



福岡国際会議場



福岡国際センター



福岡空港、JR博多駅から至近のアクセス。アジア各国へ向けた海の玄関、博多港国際ターミナルに隣接したゾーンに3つのコンベンション施設が集結し、多彩な可能性がひろがります。アフターコンベンションは、玄界灘の幸をはじめとするグルメや、都市型のエンターテインメントも充実。福岡は、世界の人々を魅了することができるコンベンションシティです。

